

JIS

摩擦ベルト伝動－Vベルト，Vリブドベルト， Vプーリ及びVリブドプーリ用語

JIS B 1860 : 2018

(JBMA/JSA)

平成 30 年 9 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇 治 公 隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥 野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌 田 実	東京大学
	河 村 真紀子	主婦連合会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	高 田 祥 三	早稲田大学
	高 増 潔	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長 田 三 紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
榎 徹 雄	東京都市大学	
三 谷 泰 久	一般財団法人日本船舶技術研究協会	
棟 近 雅 彦	早稲田大学	
村 垣 善 浩	東京女子医科大学	
山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所	
和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会	

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 25.2.20 改正：平成 30.9.20

官 報 公 示：平成 30.9.20

原 案 作 成 者：日本ベルト工業会

(〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町 3-3-10 TEL 06-6229-0470)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 分類	1
3 用語及び定義	2
3.1 Vベルト	2
3.2 Vプーリ	3
3.3 Vベルト伝動	3
3.4 データム幅に基づいたシステム	4
3.5 有効幅に基づいたシステム	5
3.6 Vリブドベルト	6
3.7 Vリブドプーリ	7
3.8 Vリブドベルト伝動	8
3.9 ベルト張力	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	12
索 引	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ベルト工業会（JBMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 1860:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

摩擦ベルト伝動—Vベルト，Vリブドベルト， Vプーリ及びVリブドプーリ—用語

Belt drives—V-belts and V-ribbed belts, and corresponding grooved pulleys—Vocabulary

序文

この規格は、2013年に第3版として発行されたISO 1081を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目（分類）を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、一般に用いられる動力伝動用の、継ぎ目のないVベルト，Vリブドベルト，Vプーリ及びVリブドプーリに関する用語及び定義について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1081:2013, Belt drives—V-belts and V-ribbed belts, and corresponding grooved pulleys—Vocabulary (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 分類

Vベルト，Vリブドベルト，Vプーリ及びVリブドプーリに関する用語の分類は、次による。

- a) Vベルト
- b) Vプーリ
- c) Vベルト伝動
- d) データム幅に基づいたシステム
- e) 有効幅に基づいたシステム
- f) Vリブドベルト
- g) Vリブドプーリ
- h) Vリブドベルト伝動

注記 Vベルト伝動には、基準となる幅の取り方によって2種類のシステムが存在する。一つはデータム幅に基づくシステムであり、もう一つは有効幅に基づくシステムである。また、これらのシステムは独立である。